

# 各事業セグメントの重点取り組みテーマ 2018年度活動報告

バンダイナムコグループでは、各事業セグメントおよび関連事業会社が、グループCSR重要項目別に中期計画を策定し、活動に取り組んでいます。中期計画では、重点取り組みテーマを設定し、テーマごとに施策とロードマップを策定の上、グループCSR委員会およびCSR部会において活動状況の進捗確認と振り返りを行い、計画の達成を目指しています。2018年4月から3カ年の中期計画における各事業セグメントおよび関連事業会社の活動状況は以下の通りです。

バンダイナムコグループCSR重要項目 商品・サービスの安全と衛生			
事業セグメント	重点取り組みテーマ	進捗状況	2018年度活動報告
トイホビー	安全・安心への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 「プロダクトセーフティフォーラム」として、グループ会社5社共同の製品安全を考える展示会を日本国内で実施。中国・深圳においても、同様の展示会を2社合同で実施。</li> <li>+ 講話やワークショップを組み合わせた、協力メーカーとの勉強会を年4回開催。 ⇒参加者満足度平均値：92.0% (目標値：80%以上)</li> <li>+ バンダイ品質基準の見直しを2回実施し、計39項目を改訂。また、15歳以上を対象としたBANDAI SPIRITS品質基準(214項目)を制定。</li> </ul>
ネットワークエンターテインメント	安全・安心なモノづくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ バンダイナムコエンターテインメントおよびバンダイナムコオンラインのゲーム制作におけるレギュレーションやガイドラインを改訂。</li> <li>+ BXDにおいて展開するプラットフォーム「enza」のガイドラインを制定。</li> </ul>
リアルエンターテインメント	安全・安心な施設づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 「AOU青少年アドバイザー」資格取得促進。 ⇒バンダイナムコアミューズメントとプレジャーキャストのゲームセンターにおける店舗責任者の資格取得率：100%</li> <li>+ 「サービス接客検定」資格取得推進。 ⇒施設配属社員取得率：97.3% (取得目標率100%)</li> <li>+ 施設の安全性に関する点検を実施。 ⇒店舗安全点検(年2回)、電気設備点検評価(計50店舗)のほか、キッズスペースや大型遊戯施設にて定期点検を実施</li> <li>+ 食品衛生に関する自主検査(食品衛生検査)を飲食全店に年2回実施。</li> </ul>

バンダイナムコグループCSR重要項目 商品・サービスの安全と衛生			
事業セグメント	重点取り組みテーマ	進捗状況	2018年度活動報告
映像音楽プロデュース	商品の安全基準の取り込み		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ バンダイナムコアーツ品質管理基準を改訂。</li> <li>+ 新作パッケージについて製造工程の立ち会いを実施。(年11回)</li> </ul>
IPクリエイション	「事故0運動」：制作の配送・集荷業務における車両運転に関して、安全性を高め事故をなくす		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 新規入社32名に対する運転技能および交通安全講習を実施。</li> <li>+ 制作進行車両全21台に対し、動態管理システム「スマートドライブ」を搭載。</li> </ul>
関連事業会社 (バンダイロジバル・ロジバルエクスプレス)	安全運転により車両事故を抑制し、貨物を遅滞なく届ける		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ ドライバーおよび運行管理者などに対する安全研修を年5回実施。</li> <li>+ 点呼時の安全指導を実施。</li> <li>+ 安全性優良事業所(Gマーク)の認証を12拠点において維持。</li> </ul>
関連事業会社 (アートプレスト)	生産・材料における安全・安心な製品提供		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 生産工程をフローチャートで継続管理。</li> <li>+ 工場監査を年1回実施し、生産工程上の品質管理の遵守を確認。</li> <li>+ 既存の使用資材について、材料種類別・製品タイトル別にデータベースの情報を更新。</li> <li>+ 新規に導入した資材について、材質に沿った定期検査を継続して実施。</li> </ul>

バンダイナムコグループ CSR 重要項目 環境配慮			
事業セグメント	重点取り組みテーマ	進捗状況	2018年度活動報告
トイホビー	Act. Now For Future Smiles 笑顔のためにできること		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 事業セグメント内において、CSR推進会(年4回)、エコメダル委員会(年4回)、ユニバーサルデザイン研究会(年5回)を開催。</li> <li>+ 環境広報をはじめとするCSR広報を充実。 ⇒イベント出展: 12会場、約4,700名来場 ⇒出前授業: 115校、約7,500名実施</li> <li>+ 環境配慮について所定の社内基準を満たした製品を「エコメダル」製品として認定する「エコメダル」認定制度において、2018年度は132アイテムを認定。</li> </ul>
ネットワークエンターテインメント	環境配慮設計および環境啓発活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 社内掲示等を通じて社員向け環境教育を推進。</li> </ul>
リアルエンターテインメント	省エネ施策		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 環境配慮設計について所定の社内基準を満たした製品を認定する「エコアミュージメント」を推進。</li> <li>+ 業務用ゲーム機約2,000台の照明をLED化し、蛍光灯対比45.7%の使用電力削減に成功。</li> <li>+ アミュージメント施設にて、新規に導入した照明設備にLEDを積極採用。</li> <li>+ 環境省主催の「ライトダウンキャンペーン」において、母体商業施設のご理解のもと、お客様への安全・防犯面等で支障のない範囲をライトダウンし、ゲーム機の明かりなどで運営。</li> </ul>

バンダイナムコグループ CSR 重要項目 環境配慮			
事業セグメント	重点取り組みテーマ	進捗状況	2018年度活動報告
映像音楽プロデュース	環境配慮の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 仕掛品および商品在庫の余剰分について、リサイクル処分を実施。</li> <li>+ ライブ・イベントの照明にLEDを積極的に使用。</li> <li>+ 舞台道具を再利用するなど、木材などの自然材料の使用量を削減。</li> </ul>
IPクリエイション	環境配慮と従業員の理解の促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 電子承認システムの範囲拡大により、ペーパーレス化を推進。</li> <li>+ アニメーション制作工程のデジタル化による紙資源の削減。 ⇒バンダイナムコピクチャーズにおいてデジタル化に特化した大阪スタジオを設立</li> <li>+ 社内掲示、メールマガジンを通じて社員に向けた啓発活動を推進。</li> </ul>
関連事業会社 (バンダイロジバル・ロジバルエクスプレス)	車両より排出するCO <sub>2</sub> の抑制と事業所の節電によるCO <sub>2</sub> 排出の抑制		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 新車で購入した車両には、すべて「平成22年排出ガス規制」(ポスト新長期適合規制)の適合車種を導入。</li> <li>+ エコドライブ活動継続による平均燃費は5.53km/Lで推移。</li> <li>+ 事務所・倉庫の不要照明消灯による節電を継続。</li> </ul>

バンダイナムコグループ CSR 重要項目 コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー			
事業セグメント	重点取り組みテーマ	進捗状況	2018年度活動報告
トイホビー	コンテンツ・商品における倫理表現の統制		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 倫理に関する各研修の実施。 ⇒新入社員研修を年1回、トイホビーユニット各社向け研修を年4回実施</li> <li>+ 商品における倫理観、他社事例や社内事例を蓄積し、ターゲット層に合わせた倫理判断基準の見直しを実施。</li> <li>+ グループ各社の倫理担当者が集まるグループ倫理座談会(年2回開催)を開催。</li> </ul>
ネットワークエンターテインメント	適切な倫理表現への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ ネットワークエンターテインメント事業を行う各社共通の取り組みテーマとして「コンテンツの適切な表現の管理」を掲げ、取り組みを推進。 ⇒倫理表現に関する社員向けセミナーを継続して実施 ⇒倫理表現に関するメールマガジンの配信や、社内の専用サイトを通じて、社員に情報を発信 ⇒グループ各社の倫理担当者が集まるグループ倫理座談会(年2回開催)に参加</li> </ul>
リアルエンターテインメント	コンテンツ・商品における倫理的配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 商品・サービスにおける倫理表現の基準細則を改訂。 ⇒倫理担当事務局を新たに設置</li> <li>+ 自社・他社事例を踏まえ、適切な表現ができるよう、事業部門に向けた倫理講習会(年3回)を実施。 ⇒グループ各社の倫理担当者が集まるグループ倫理座談会(年2回開催)に参加</li> </ul>
映像音楽プロデュース	倫理表現と知的財産保護の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 倫理表現について、2部門による多重チェックを実施。</li> <li>+ 著作権に関する社内講習会を実施。</li> <li>+ グループ各社の倫理担当者が集まるグループ倫理座談会(年2回開催)に参加。</li> </ul>
IPクリエイション	適切な倫理表現への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ グループ各社の倫理担当者が集まるグループ倫理座談会(年2回開催)に参加。</li> </ul>
関連事業会社(アートプレスト)	社内意識の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 全社員に対して情報セキュリティ(Pマーク)研修を年1回実施。</li> </ul>

バンダイナムコグループ CSR 重要項目 サプライチェーン管理			
事業セグメント	重点取り組みテーマ	進捗状況	2018年度活動報告
トイホビー	BANDAI Factory Audit (BFA)		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 日本向けバンダイ製品を生産するすべての海外最終梱包工場(168工場)に対して監査を実施。</li> <li>+ キャラクター情報規制がある著作権の商品を生産する工場についてユニット全体での一括管理を実施。</li> <li>+ 東京、上海、深圳の3会場でサプライヤーとの情報共有を行う「サプライヤーカンファレンス」を実施。</li> </ul>
リアルエンターテインメント	国内外における適切なサプライチェーン管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ サプライヤーとの取引開始時に、強制労働など人権侵害の禁止を含む7つの大項目に関する「CSR調達アンケート」を実施。</li> <li>+ 新規に取引を行う業務用ゲーム機の組付工場において、就労環境を含む確認項目について監査を実施。</li> </ul>
映像音楽プロデュース	サプライチェーン管理の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 個人情報を取り扱うカスタマーセンターの監査を実施。</li> <li>+ 国内外の主要生産工場に対して、工場監査チェックリストに基づいたヒアリング調査を継続実施。</li> </ul>
関連事業会社(バンダイロジバル・ロジバルエクスプレス)	一貫物流サービスの展開		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ AEO通関業者資格を維持。</li> <li>+ プライバシーマークを維持。</li> </ul>
関連事業会社(アートプレスト)	生産現場における安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> <li>+ サプライヤーへの工場監査を継続して実施(国内外全17社中10社)。</li> </ul>